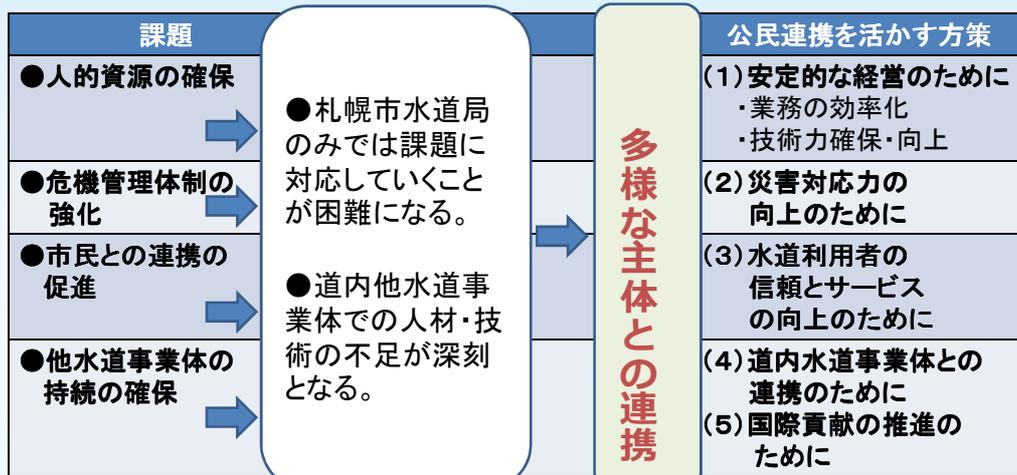


公民連携の基本的な考え方

持続的・安定的な水道事業運営のため、利用者、水道サービス協会、民間企業、他水道事業者、教育機関など**多様な主体と連携**し、水道事業の課題解決に取り組んでいく。

多様な主体との連携



(1) 安定的な経営のために

- 技術継承の推進→民間企業などとの研修の充実
- 業務委託の推進→継続・拡大
- 効果的な運営手法の導入 →PFIを含む手法の検討
- 産・学・官による技術開発の推進
→共同研究の継続、民間企業との技術協力推進



(2) 災害対応力の向上のために

- 災害訓練の実施
 - 町内会・自治会との訓練、緊急貯水槽見学会の充実
 - 他水道事業体や日本水道協会などとの災害訓練の拡充
- 災害への備え
 - 水道サービス協会や札幌市管工事業協同組合との災害時の協力体制の充実に向けた検討
 - 家庭などにおける飲料水備蓄に関する情報発信の推進

3

(3) 水道利用者の信頼とサービスの向上のために

- 札幌水道の取り組みや水道水の
おいしさ、水源保全について共感が得られる
ような広報・広聴活動
→街頭イベントの積極的開催など
対話型コミュニケーションの充実



4

(4) 道内水道事業体との連携のために

広域化に関する国や市の考え方

<新水道ビジョン>

- 事業統合にとられない多様な形態の広域連携として「**発展的広域化**」を掲げる人材・施設・経営の各分野において、既存の枠組にとられない発展的な連携例)施設の維持管理や研修の共同化

<札幌市まちづくり戦略ビジョン>

「北海道と共に発展する札幌」

- 道内の市町村とも連携しながら、北海道全体の活性化に向けた役割を**今まで以上に積極的に**果たしていく。

5

(4) 道内水道事業体との連携のために

● 道内水道事業体における課題

- ◆ 9つの近隣水道事業体、4つの中核水道事業体へのヒアリング調査
- ◆ 道内96水道事業体へのアンケート調査
- ◆ ヒアリングを実施した水道事業体と合同研究会を開催、広域化についての意見交換

人材不足

- ・ 退職者の増加による職員数の減少
- ・ 職員の高齢化

財政悪化

- ・ 給水量の減少
- ・ 経年劣化に伴う施設更新

技術継承

- ・ 技術職員の高齢化
- ・ ノウハウの蓄積が進みにくい

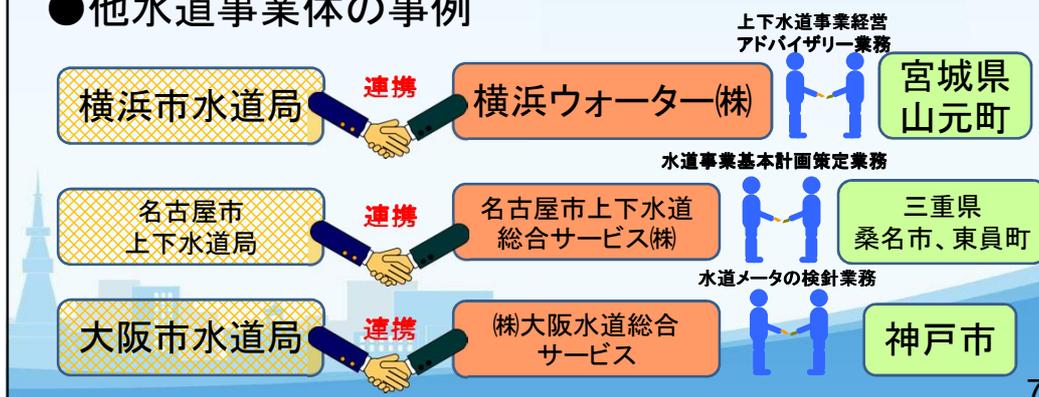
6

(4) 道内水道事業体との連携のために

◆ 水道サービス協会との連携による発展的広域化

- 蓄積された技術力、公共性を活かし、他水道事業体のニーズに応える。
また、地元の民間企業との連携も視野に入れる。

● 他水道事業体の事例



(5) 国際貢献の推進のために

- JICAを通じた国際技術協力(研修生受入)
→相手国のニーズに応じた研修内容の継続的改善
- モンゴル国ウランバートル市との技術協力(提案中)



まとめ

●札幌水道の維持のために

- (1) 安定的な経営 → 民間企業などの**研修の充実**
教育機関との**共同研究の継続**、民間企業との**技術協力推進**
- (2) 災害対応力の向上 → 町内会・自治会との**訓練**、**緊急貯水槽見学会の充実**
他水道事業者や日本水道協会などの**災害訓練の充実**
- (3) 水道利用者の信頼とサービスの向上 → 水道水のおいしさについてイベントなどでの**広報・広聴活動**
街頭イベントによる**対話型コミュニケーションの充実**

●他水道事業者の維持のために

- (4) 道内水道事業者との連携 → **水道サービス協会との連携による発展的広域化**
- (5) 国際貢献の推進 → **JICAを通じた国際技術協力の充実**
モンゴル国ウランバートル市との技術協力の提案

9

多様な主体との連携の概念図



○連携を進める上での原則

札幌水道に関係する主体が相互にメリットのあるWin-Win（ウィン・ウィン）の関係を築き、効果的、効率的にそれぞれの役割を果たしていく。

10